

# Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 **スマイル&ハート vol.41**

**TAKE FREE**

ご自由にお持ち帰り  
ください

2018年 1月号

ホームページ <http://www.hamada-nh.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>

 [浜田医療センター](#) で検索！

## 特集1/ リハビリテーション科 のご紹介

統括診療部長・リハビリテーション科部長 井上 幸哉

## 特集2/ 浜田開府四百年に向けて

浜田発展の歴史と浜田医療センター

浜田市長 久保田 章市

## シリーズ 介護施設のご紹介

- ・ 島根県済生会介護(療養型)老人保健施設 高砂ケアセンター
- ・ 介護老人保健施設 さざんか

地域人 vol.27

郷土の歴史遺物の再利用 ~そして未来へ向けて

郷土史愛好家 楫ヶ瀬 孝

地域のホスピタリティを訪ねて

江津商工会議所青年部(江津YEG) 会長 盆子原 健





# 巻頭言

## 地域医療における当院の役割

浜田医療センター院長  
石黒 眞吾

新年明けましておめでとうございます。

浜田医療センターは浜田圏域の中核病院として良質な医療の提供ができる病院を目指していきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年4月は診療報酬改定があります。診療報酬は2年に一度、介護報酬は3年に一度改定があり、本年4月は6年に一度の同時改定にあたります。今回の改定は、団塊世代の全てが75歳に到達する2025年に向けての方向性を示す改定となり、医療・介護連携の強化が促進されます。また、厚生労働省が示したように、今回の診療報酬改定は全体でマイナス1.19%（診療報酬本体+0.55%、薬価等▲1.74%）となっており、病院経営上は厳しいものとなりました。詳細についてはまだ公表されていませんが、7：1看護基準がどのようになるかなど、改定内容によっては今後の医療機器の更新など設備投資が滞る恐れが生じてきますので注視しています。

しかしながら、当院は地域住民にとって必要不可欠な病院である以上、職員が一丸となって、この荒波を乗り越え進んでいかなくてはなりません。昨年は「公的医療機関等2025プラン」を策定し、島根県に提出しました。これまでも当院は地域医療構想の流れを見据えると共に、後方支援病院の不足を補うために地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を整備した他に、高度急性期病棟、急性期病棟、緩和ケア病棟を充実させてきました。島根県の高齢化率は32.5%で全国平均の26.7%を大きく上回っており、浜田市に至っては33.6%となっています。今後、5～10年は高齢者の人口は減らないことから、当面は現在の診療機能を維持すべきと考えますが、高齢者の人口減少、就労者人口の減少が進んでいけば、医療需要は低くなります。圏域においてどこまでの医療を提供するのかを、同じ浜田圏域内の病院の機能分化ならびに病床数と医師の適正配置を含め、検討していく必要があると考えています。

来年度からの次期島根県保健医療計画についてはその案がほぼでき上がりましたが、地域医療構想の議論も取り入れられつつあります。しかし、当圏域での医療構想は各機関の事情に配慮せざるを得ず、なかなか思うように進んでないと思います。医療資源が多くない当地域ですが、病院、診療所、介護施設を巻き込んで、より突っ込んだ議論が必要と感じます。急性期・回復期における当院の役割をより一層明確にしながら、皆さんにとって必要な病院としての役割を果たしていきたいと思っております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

浜田医療センターの理念

「心のこもった、情のある医療」

- 基本方針
1. 安全で良質な医療
  2. 患者中心の医療
  3. 地域との連携
  4. 健康増進への貢献
  5. 健全な経営

### 患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

### ホームページ

<http://www.hamada-nh.jp/>



### facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>

浜田医療センター で検索！



## contents

- 2 巻頭言～地域医療における当院の役割～
- 3～4 特集1：リハビリテーション科の紹介
- 5 病院機能評価の認定をうけました
- 6 国立病院総合医学学会に参加して
- 7 地域人 vol.27
- 8～9 シリーズ：介護施設のご紹介
- 10 研修医だより
- 11 認定看護師の活動について
- 12 地域のホスピタリティを訪ねて
- 13 ありがとう三江線
- 14～15 特集2：浜田開府四百年に向けて
- 16～17 看護学校だより
- 18 冬の特別メニュー／健康レシピ
- 19 募集／奨学生募集
- 20 外来診療担当医表

特集

# リハビリテーション科

## の紹介

### はじめに

リハビリテーション医学は障がい(者)をあつかう診療分野です。障がい者の社会復帰や社会参加へのプロセス全体をリハビリテーションと呼ぶのが本来の意味であり、それが当診療科の目的になります。一般に「リハビリ」と呼ばれている訓練(歩いたり話したりする練習)は、そのための手段ですので、それ自体が目的であるかのように漫然と行うものではありません。医師による予後予測、目標・方法・期間の設定、効果判定などがそろって、はじめて医療行為として成立するものです。

そして症状を軽くすることはもちろん大切ですが、社会復帰のために具体的に必要なのは日常生活自立度(どれだけ自分のことは自分でできるか)の向上です。訓練以外にも補装具・杖・車椅子などの補助手段の用意、手すりやスロープなどの環境調整、介護保険など社会資源の利用など、多種多様な支援が必要であり、かつ可能です。このような要素もすべて、リハビリテーション科では責任を持って調整します。

統括診療部長  
リハビリテーション科部長  
井上 幸哉

【いのうえ・ゆきや】

- ・鳥取大学医学部:昭和59年卒業
- ・日本リハビリテーション医学会専門医・指導医
- ・日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ医
- ・義肢装具等適合判定医
- ・日本脳神経外科学会専門医



補装具適合判定では個々の患者さんに最適な補装具を処方しています



## 在宅復帰と社会参加

この分野には歴史的に見て障がい児の成育医療や傷痍軍人の社会復帰など、多様なルーツがありますが、社会の高齢化と共に脳卒中や骨粗鬆症関連疾患が増えてきたため、現代の日本では回復期リハビリテーション病棟への関わりが多くなっています。

回復期リハビリテーション病棟の目標も、やはり在宅復帰・社会参加であり、そのためにさまざまな職種スタッフが力を合わせて働いています。当院の回復期リハビリテーション病棟は開設して4年目に入り、昨年の病院機能評価でもリハビリテーション科の診療は患者さん中心であるとして、高い評価を頂いています。

## 第三の医学

一般的な診療科とは異なり、対象が特定の「臓器」ではなく「障がい」、目的が特定の「病気の治療」ではなく「社会復帰」という点が、リハビリテーション科を少々わかりにくくしているかもしれません。世界保健機関（WHO）は予防医学や治療医学とは別の、第三の医学としてリハビリテーション医学を位置付けています。

とはいえ当科の米国での正式な名称は PM&R（物理医学とリハビリテーション）で、物理医学と呼ばれる新旧様々な治療医学的な手法も、実はたくさん含まれています。いわゆる「リハビリ」と呼ばれる運動療法では理学療法、作業療法、言語療法などが良く知られています。古典的には温熱や電気などによる物理療法（元々は放射線治療も含まれていたそうです）、義肢装具療法などがあり、近年は神経調整的治療と呼ばれるボツリヌス菌毒



痙縮の治療では電気刺激による正確な筋同定が必須です

素を利用した痙縮治療や、経頭蓋磁気刺激による神経症状の軽減、また内視鏡や透視を使った摂食嚥下機能の動的評価や訓練が行われ、今後はロボットを利用した訓練も注目されています。

## 最後に

このように、分野や技術にこだわらず役に立つものは何でも使う、関わるということもリハビリテーション科の特徴であり、逆に言えば扱う疾患・症状から治療手段に至るまで、全体としてあまり系統だたない運命にはあります。その代わり引き出しは多く、また、そもそも病気の治療だけを目的としている訳ではないので、障がいを持つ方でお困りのことがあれば、内容が何であれ相談してください。必ずご希望に沿えるとは限りませんが、何かのお役に立てる場合も、あると思います。



ベッドサイドでの嚥下内視鏡検査（飲み込みの状態を評価します）



回復期リハビリテーション病棟（毎朝のラジオ体操）の様子

# 病院機能評価の 認定を受けました



平成29年12月1日付で公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価(3rdG:Ver1.1)一般病院2及びリハビリテーション病院の認定を受けました。

## 病院機能評価とは

病院機能評価は、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。日本医療機能評価機構は、病院機能評価を通じて、病院の質改善活動を支援しています。

## 評価対象領域とは～何を評価するのか～

病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。

## ● 4つの評価対象領域

1. 「患者中心の医療の推進」
2. 「良質な医療の実践1」
3. 「良質な医療の実践2」
4. 「理念達成に向けた組織運営」

## 病院機能評価とは

病院機能評価により、一定の水準を満たした病院は「認定病院」となります。認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言えます。現在、全国の約3割の病院が病院機能評価を活用しています。

※公益財団法人 日本医療機能評価機構ホームページから引用



# 国立病院総合医学会 に参加して

企画課 契約係 池淵 雄樹



去る11月10日(金)ー11月11日(土)に香川県高松市のサンポートホール高松を中心会場として、第71回国立病院総合医学会が開催されました。この学会は全国の国立病院からあらゆる職種の人が集まる大規模な学会です。

当院からはポスター発表、口演合わせて20名の職員が演題を出しました。

このうちポスター発表において、以下の3演題が、「ベストポスター賞」を受賞しました。

「ADL獲得に向けた看護を提供するために  
～情報共有シート導入後の看護師の意識変化～」  
演者：5階南病棟 福本 賀奈子

「腎機能に応じた薬剤の適正使用の取り組み  
～腎機能検査値を基にした監査方法の標準化～」  
演者：薬剤部 高橋 俊樹

「栄養管理室運営に関する一考察」  
演者：栄養管理室 酒永 智子

※ベストポスター賞：ポスター発表は各グループ5・6人に分かれて行い、各グループの座長が最も良いと思った発表をベストポスター賞とします。

私は「事務職員が医療クラークに参加したことによる気づき」という演目でポスター発表を行いました。医療クラークは各診療科の医師の横について仕事をしている

職員で、正式名称は「医師事務作業補助者」と言います(具体的な仕事内容についてはスマイル&ハートvol.40に掲載されていますので、こちらをご覧ください)。

私はこの医療クラーク業務を心臓血管外科と腎臓内科の方でさせて頂きました。

今回医療クラーク業務に参加したことにより、外来での診察の様子や電子カルテ上での検査や投薬等のオーダーの仕方、そしてその情報が医事の方へどのように流れているかを把握することができました。

また、私は普段契約係として物品購入や修理受付、業者さんの対応等の業務を行っており、今回の経験は他職種の仕事内容を知るよい機会になったと思います。

学会ではポスター発表だけでなく、口演やシンポジウムを聴くことができました。その中では私が現在担当している業務に関わる発表もあり、今後の業務の参考になりそうな発表をした方には直接お話を伺うことができました。この経験を糧に、さらに業務に励んでいきたいと思っています。

今回の学会で発表した職員のポスターは、浜田医療センターホームページ「医療関係」ページに掲載する予定です。是非ご覧ください。

最後になりましたが、今回医療クラーク業務を行う上で、場所を提供して頂いた心臓血管外科と腎臓内科のスタッフの皆様、医療クラーク業務と通常の契約業務との両立が図れるよう配慮して頂いた企画課の皆様にご挨拶を申し上げます。ありがとうございました。



# 地域人

vol. 27



地域を守り  
育む人たち

## 「郷土の歴史遺物の再利用 ～そして未来へ向けて」

郷土史愛好家 楫ヶ瀬 孝

(かじがせ たかし)

今回の「地域人」は、郷土史愛好家・楫ヶ瀬 孝さんをご紹介します。

### 活動のきっかけ

長年、病院で臨床検査技師として勤務しましたが、退職を期に生まれ育った地元に関心を持ちたいと考えた結果、現在は2つの大きな活動を行っています。

一つ目は石見神楽の蛇胴を用いた和紙製品作り、二つ目は日本遺産（北前船寄港地）の追加認定を目指す取り組みです。

### 焼却されていた蛇胴が姿を新たに

ご存じの方もおられると思いますが、石見神楽の蛇胴は浜田市三隅町を中心に製造されている石州和紙を何枚も貼り合わせて作られています。この和紙はとても頑丈で、三重に貼り合わされた和紙はミシンで糸が縫えるほど頑丈です。60回程度舞台上で使用された蛇胴は、やがて練習用になり、最後は焼却処分となるのが一般的でした。大蛇鱗の美しい模様や、風情のある色彩の蛇胴が焼却されるのは勿体ないと考え、何かに利用できないかと思案した結果、小物入れなどに再利用しようと思い立ちました。

試行錯誤し、家内の意見も聞きながら苦労して作成しましたが、今では手提げ袋や名刺入れ、財布（お札入れ）などバリエーションも増やしていくことができました。

一番嬉しかったのは蛇胴を製作される方から、「焼却されるだけの蛇胴が、使ってもらえるものに生まれかわるは嬉しい。120年目の進歩です」と言ってもらえたことです。私の大好きな石見神楽が繁栄していけば、役目を終えた蛇胴の数も増えてきます。私は神楽舞を遠くから眺めていた大蛇が姿を変え、一般の方々に柄として、石州和紙として触れてもらえるように工夫しました。蛇胴は私一人の物でもありませんし、関心のある人が色々と試行錯誤されて、この石見神楽のヒーロー「大蛇」が皆さんに愛して貰えるようになることを願っています。

### 外ノ浦湊の歴史をつなぐ活動

我が家のある外ノ浦（とのうら）湊は、祖父の代まで廻船問屋として北前船との商いを行っていたこともあり、我が家には関連書物数点が伝来しています。また、自宅

の納屋を解体中に出てきた屏風の裏紙に、問屋当時の帳面などが使用されているのも見つかりました。外ノ浦湊は、江戸時代の北前船の寄港地で、浜田市が日本遺産の追加認定を目指しています。

外ノ浦湊は藩政時代、浜田市の表玄関でしたが、現存している資料が乏しく、郷土史家を訪ね、教を請うたりして文書に残し、後世にバトンが渡せるよう活動しています。その中で、浜田市が日本遺産の追加登録を目指しているとわかりました。以前より、外ノ浦湊を対象とした発表や講演を行ってきたこともあり、非常にやりがいをもって研究活動をしています。これからも少しでも外ノ浦湊を知ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。

最後に一句。

「インタビュー 語り尽くして 冬に入る」

### ～取材を終えて～

ご夫婦一緒に取材対応していただきました。屋外は風の強い冬の天気でしたが、屋内は暖かで緩やかな時間が流れており、予定時間を大幅に超えてしまいました。これからも仲良く活動を続けることができるようお祈りいたします。



古くなった蛇胴を加工する様子



外ノ浦湊の景色

## これからも地域に根ざして

今回ご紹介する施設は、江津市江津町の「介護老人保健施設 高砂ケアセンター」センター長 栗村敬先生です。

平成24年10月、「島根県済生会再編計画」に基づき、医療：済生会江津総合病院、福祉：特別養護老人ホーム白寿園、保健：介護老人保健施設高砂ケアセンターとして開所しましたが、前身である高砂病院・介護老人保健施設たかさご苑から数えますと丸26年運営しています。

入所定員は160人で、内訳としまして1階一般棟50人、2階療養棟60人、3階認知症専門棟50人となり、2階については、療養病棟の転換型老健で、介護療養型老人保健施設となっています。

今は日本各地でいえることですが、急速な高齢化社会の進展に伴い、高齢者福祉対策の一環として、江津市のニーズを考え、急増する認知症、脳血管疾患の高齢者を対象とした高砂病院と併設の老人保健施設を開院したのが始まりです。

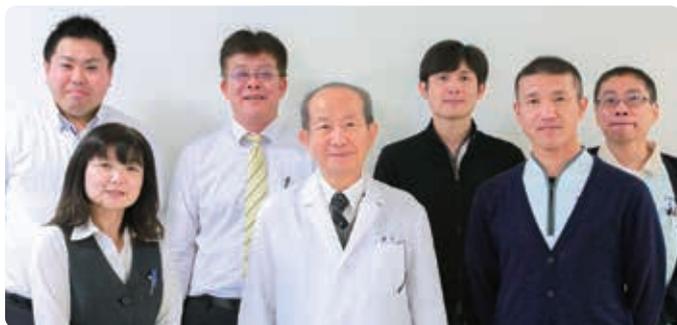
高砂ケアセンターは入所サービスと在宅サービスの両面から住み慣れた地域で安心して生活できるよう皆さんを支援していきます。

入所されている方も高齢化が進み、100歳を超える方も珍しくはなくなってきました。また、入所されている方のご家族が、江津市を離れて都心部に居住される方も多くなり、コミュニケーションをとることが難しくなっています。そこで当施設では、夏は納涼祭、秋は文化祭を実施し、入所者の方はもちろん、遠方の家族の方も参加しやすいように定期的にイベントを行っています。

その他、職員による模擬店も開き、職員も楽しく参加できるようにしています。私は84歳になりますが、まだまだ元気です。轟頂の球団、阪神タイガースのように、今後も職員一丸となって楽しく仕事をしたいと考えています。



これから超高齢化の時代となり、日本の中でも島根県西部はその傾向が早く進んでいます。この地域で頑張っている高齢者を支えることはもちろんですが、入所者160人をお世話する職員も支えなくてはなりません。介護職員のみならず看護職員の確保も年々厳しくなっていますが、広くこの地域(大田市から浜田市まで)をカバーし入所者とそのご家族に満足していただくためには職員の確保は不可欠です。当施設の理念「たいせつな、ひ



とりひとり」～利用者・家族、ひとりひとり。職員、ひとりひとり～を実践していきます。また、これからも当施設がよい方向に発展していくためには、皆さまから当施設に対するご意見を伝えていただくことが非常に重要であると考えています。直接・間接的に皆さまの考えを教えていただければと願っております。



島根県済生会介護(療養型)  
老人保健施設  
**高砂ケアセンター**

〒695-0011  
島根県江津市江津町1110-15  
TEL0855-52-5100 FAX0855-52-3882

## 支える医療・介護を目指して

次にご紹介する施設は、浜田市金城町の「介護老人保健施設 さざんか」施設長 川崎功二さんです。

介護老人施設「さざんか」は、平成5年9月1日に入所定数50床で開設しました。6年前から入所定数100床、通所50名に変更し、現在は、通所リハビリ、訪問リハビリ、介護予防通所リハビリも実施しています。

当施設の運営基本理念として、

1. 全ての個人は、一人の人間としての尊厳を尊重されなければならないと考えています。
2. 高齢者もまた社会にとってかけがえのない存在であり、社会の中で重要な役割を担う人たちであると考えます。
3. さざんかは、ご利用いただく高齢者が、美しく健やかに生き生きと生活を楽しむことをめざしてお手伝いします。
4. さざんかは、ご利用いただく高齢者が、自分の力で日常生活が送れるようお手伝いします。
5. さざんかは、ご利用いただく高齢者が、自ら健康を管理できるようお手伝いします。

を実践しています。

毎年夏には納涼祭、秋には文化祭を実施しています。文化祭は「グループホームさくら」も一緒に参加するので、来場者は300名を大きく超えます。その際に職員による芸も披露しています。

演劇で使用する衣装は地元の劇団からお借りしたり、地域住民の方にも手伝っていただいたりして、地域全体で盛り上がるようにしています。その他、地域の人とのふれあいについては、毎月1回カフェいっぴくを開催し、地域の方へ情報発信をしています。興味のある方は是非カフェに参加してみただけたらと思います。また、当施設に入職を考えておられる方の参加も歓迎します。

開設当初より、地域医療支援病院として浜田医療センターにお世話になっています。その他、入所や通所のご利用者のかかりつけ医である病院や診療所の先生とも情報提供を密に行っています。

今後は、国の方針である「時々入院、ほぼ在宅」に向けて、訪問リハビリに力を入れていくことも考えています。



このように、施設の運営には地域の方々の協力が不可欠です。そして、その地域の方々を支えていける医療・介護を目指していけたらと思います。



### 介護老人保健施設 さざんか

〒697-0123

島根県浜田市金城町七条403

TEL0855-42-2200 FAX0855-42-2211

(お問い合わせ受付時間/月～金 8:30～17:30)

# 研修医だより

命を守り育む医師を目指して



初期研修医1年目 御手洗 裕紀

(H29年3月島根大学医学部卒)



寒さの厳しい日々が続く中、あたらしい年を迎えました。年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。今月の研修医だよりは、1年目の御手洗裕紀が担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

私は千葉県松戸市出身で、2017年3月に島根大学医学部を卒業し同年4月から浜田医療センターで勤務させていただいております。島根県での生活は大学入学から数えて7年目となりますが、今ではすっかり馴染んだものと自負しております。

自然に親しむのが好きで、学生時代は川や海で釣りに没頭する生活を送っていました。今ではゴルフを新たに趣味として始め、浜田の表情豊かで美しい四季折々の自然に魅了されながらプレイを楽しんでいます。

医師として働き始めてからは、まさに激動の日々でした。最初の1ヶ月間は電子カルテの扱い方をはじめ業務に慣れず、要領の悪い自分が嫌になる時期もありました。そんな中でも指導医の先生方は根気強く親身に、そして時には厳しくご指導をくださり、医師としての基本を身につけていくことができました。

不慣れな対応だったはずであるにもかかわらず、患者さんから「先生ありがとうございました」と温かく声を

かけてくださることもあり、恐縮するとともにさらなる研鑽に励もうと気が入りました。

現在着任から9か月余りが経とうとしていますが、指導医の先生から「大分手際が良くなってきたね!」といただけることもあり、少しはお役に立てることも増えてきたのではないかと我ながら感じております。今後も謙虚に、かつ大いに張り切って貪欲に知識と技能の習得に努めて参る所存です。

私は学生時代から呼吸器・臨床腫瘍学に関心を持っており、現在に至るまで常に自身の学問上の支柱であり続けてきました。今後は呼吸器内科を専門にした上で、肺がんを中心としたがん薬物療法の専門医を目指したいと思っております。

4月からは島根大学病院での勤務となりますが、ここ浜田医療センターで得たかけがえのない経験を必ずや活かし、そして将来は島根県西部の呼吸器・腫瘍内科診療に少しでも貢献が出来ればと考えています。

長くなりましたが、最後までお読みいただき誠にありがとうございました。今後とも研修医一同、地域の皆様方のために微力を尽くして参ります。

何卒よろしくお願いいたします。

# 感染管理の「仕事」と 誰でもできる 「感染対策」について

感染管理認定看護師 渡邊 正美

わたしは、現在「感染対策チーム」、「抗菌薬適正使用チーム」のメンバーとして活動しています。チームは他に医師、薬剤師、検査技師で成り立っており、いつも相談や協力していただき心強い存在です。

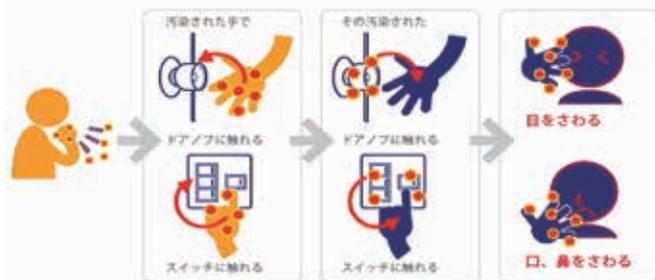
「感染対策チーム」は、週に1回院内をまわり、手指消毒薬の使用量やごみの分別状況、薬剤の使用期限の確認をしたり、感染症患者の部屋をみて指導しています。また、職員の予防接種の実施、結核や針刺し事故など突然発生する事例の対応も行っています。

「抗菌薬適正使用チーム」は、感染症治療に必要な抗菌薬（抗生物質）について主治医に使い方や必要な検査を提案しており、感染症治療に貢献できるように活動しています。

病院では以上の活動を行っていますが、日々の生活の中で、誰でもできる感染対策をご紹介します。

## 手洗い・アルコール消毒

感染症（病気）になれば、処方された抗菌薬（抗生物質）を正しく服用することが大事ですが、やっぱり、病気になるのが一番だと思います。感染症にならないために、誰でもできる感染対策があります。



わたしたちが感染する病原体（細菌やウイルス）は、すごく小さな生き物なので肉眼では見えませんが、どこにでも存在しています。病原体は、初めにわたしたちの手に付着します。その手で鼻や口などに触れると、その病原体がからだに侵入し、感染が成立します。また、わたしたちが病原体のついた手でいるんなものに触れ、他のひとがそのものに触れることで、感染が広がっていきます。わたしたちの手が、病原体（＝感染症）を運んでいるのです。だから、手を洗ったり、アルコール消毒して手についた病原体を洗い流し、殺すことで、自分のからだへの侵入を防ぐだけでなく、他のひとに



感染を拡げることを防ぐこともできるのです。手洗い、アルコール消毒は日々の生活の中で、誰でもできて効果のある感染対策です。

## 手あれ対策について

手洗いを頻回に行うと、手あれになるひともいると思います。手洗いの時の手あれ対策は、①お湯ではなく、水か微温湯で手を洗う（お湯は手の油分を落とすので30度前後の微温湯で洗う）②洗剤は十分にすすぐ③手洗い後は水分をよく拭き取る（肌に残った水分が蒸発する際、角質層の水分も一緒に奪われて乾燥しやすくなるので、こすらずに押さえ拭きをする）ことが大切です。また、手洗いをして汚れを落とした部分にハンドクリームを塗ると、さらに手あれ防止になります。日々手洗いを心がけ、感染症にかからないように努めましょう。

- ①流水で手を濡らせ石けんあるいは洗剤を用いる
- ②両手のひらをよくこする



④指の間もよく洗う



⑥親指を握り洗います



⑤石けんが十分に落ちるまで、擦り合わせていたのと同じ時間をかけて流水ですすぐ



- ③手の甲をこする



⑦指先は特に入念に洗う



⑨手首も忘れずに洗う



⑧ペーパータオルや清潔なタオルなどでよく拭きとり、十分に乾燥させる



# Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

## 地域を愛する 名もなきヒーロー

江津商工会議所青年部(江津YEG)

会長 益子原 健(ほんこばら・たけし)



### 江津商工会議所青年部(江津YEG)について

江津商工会議所青年部(江津YEG)は江津商工会議所の会員事業所であって、満50歳までの経営者、もしくは次期経営者等、地域経済発展のためにその若さと情熱を持って集まった団体です。自分の商売を通じていかに地域に貢献できるのかを考えると同時に、若手人材の異業種交流の場でありますから、そのネットワークを生かし情報交換や活動を通じて自身の人脈を広げられます。現在、江津YEGの会員は40名で、年齢28~48歳までの江津市内の様々な業種のメンバーで構成され、色々な事業に取り組んでいます。

特に江津市を代表する一大行事で毎年8月16日に開催されます「江の川祭」では、実行委員会へ参画し日中の水上行事「大蛇艇競漕(オロチボートレース)」を企画・運営しております。中国地方最大の河川である江の川を舞台に、石見神楽の代表的な演目であります大蛇の模ったボートで、下流に250m下り、折り返し150m上る全長400mのコースで競います。部門も「地区対抗の部」「一般の部」「混成チームの部」と分け、市内外から延べ400名を超える方々にご参加いただいております。今年で20回を数えました。これからも多くの方々に愛される大会になるよう運営していきたいと考えております。



江の川祭 大蛇艇競漕の様子

### H29年度スローガン「共に」

私が、今年度会長職を務めさせていただくにあたり、「共に」をテーマに1年間活動しております。人と人との繋がりが希薄化している現代において、地域経済に欠かせない力となるのは連帯する力です。そこで商工会議所親会、行政、他団体などと連携して、情報の共有・危機感の共有しながら、我々YEGがこの地域の為に今何が出来き、何をすべきなのかを考え、事業を通じて地域経済の発展に貢献出来るよう会員皆で「考動」しております。

### 中国地方の青年経済人が「江津」に集結する大会

そして近年当青年部に立ちほだかる大きな山が二つあります。一つは、平成30年度に島根県商工会議所青年部連合

会の会長を輩出し、島根県内の青年部をリードする山。二つめに、平成31年度に中国ブロック商工会議所青年部連合会の会長(日本YEG中国ブロック代表理事)を輩出し中国地区内の青年部をリードする大きな山があります。平成31年10月上旬(予定)には、江津市で中国地区や全国各地の青年経済人が1,000名以上集う大会を開催できるよう実行委員会を立ち上げ準備を進めています。中国地区で一番人口の少ない市である江津市で開催する意義は、まだ分かりません。でも、この小さな市だからできる大会があると思います。来ていただいた方に、「江津に来てよかった」と思ってもらえるよう一生懸命準備を進めて行きます。

### 地域を愛する名もなきヒーロー

最後に、タイトルにあります「地域を愛する名もなきヒーロー」とは、今年度日本商工会議所青年部の会長である、吉田会長(岡山県岡山YEG)がおっしゃっていた言葉です。

私たちYEGの活動は、なかなか陽の当たらない地域の方々に知られていない地道な活動が多くあります。青年経済人である我々にとっては時間とコストは大切な経営資源です。その大切な時間とコストをかけてまでYEG活動をすることは非効率なのかもしれません。しかし、我々が歩みを止めてしまうことで失うモノは、地域にとって大切なモノばかりです。小さいころに親しんだ地元の祭り、地域独自の伝統芸能、言い伝え、将来を担う子どもたちの郷土愛を育む事業など、地域のアイデンティティを継承し、育み守ることは、誰もが出来ることではありません。その誰もが出来ない大切な役割を担っているのは、地元で生きるYEGメンバーなのです。だからこそ、我々YEGメンバーは考動を止めてはならないのです。

これからも江津YEGは、地域経済を支える力となれるよう活動を続けていきますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。



# ありがとう三江線

平成30年3月31日をもって、江津～三次を結ぶJR三江線が廃止となります。当院の職員で表紙撮影を担当している河野氏のアルバムから写真を拝借しました。

廃止決定前の輸送密度は1日あたり50人と、全盛期の約9分の1まで乗客数が落ち込んでいましたが、廃止決定の報道後は、平日でも満員で賑わっているようです。長年地域を支えてきてくれた三江線に感謝します。

次々と失われゆく石見の原風景の一つを、写真という形で残せたことを幸せに思います。  
河野 義信

# 浜田開府 四百年に向けて

浜田発展の歴史と浜田医療センター

浜田市長 久保田 章市



浜田市は、2年後の平成31年(2019年)、開府400年を迎えます。そこで、過去400年の浜田の歴史を振り返り、浜田発展の転機となった3つの出来事についてお話したいと思います。

最初は、「浜田藩の誕生」です。1500年代後半、中国地方最大の勢力は毛利氏でした。

現在の中国5県の大半は毛利氏の領地で、当時、わが国を代表する銀鉱山であった大森銀山(石見銀山)も領地の一つでした。

1600年、関ヶ原の戦いがありました。この戦いでは徳川家康公率いる東軍が勝ち、負けた西軍の大將であった毛利氏は、周防・長門(山口県)に減転封されました。そして、江戸幕府は、銀山のある大森を天領にするとともに、毛利氏が再び勢力を拡大しないよう、1619年、「毛利氏の抑え」として、周防・長門と大森との間の浜田の地に浜田藩を設置しました。

浜田藩初代藩主は、大坂の陣で戦功のあった伊勢松坂藩主古田重治公です。古田重治公は、松坂(現在の松阪市)から、家臣、町民、職人など約4千人を引き連れて浜田にやってきて、亀山城(浜田城)を築き、「浜田八町三千軒」といわれる城下町をつくりました。浜田藩は、そ

の後、古田家、松平周防守家、本多家、松平右近将監家の4家18代の城主のもとで248年間続き、城下町として栄えました。



二つ目は、明治初め頃の「浜田県庁の設置」です。明治政府は、明治2年、天領の大森と浜田藩を管轄する大森県を設置し、大森(現在の太田市)に県庁を置きました。

しかし、翌明治3年に大森県を廃止し、新たに浜田県を設置、浜田に県庁を置きました。更に翌明治4年には津和野藩が浜田県に併合され、浜田県は現在の県西部、いわゆる石見地域全体を統括することになりました(この年、東部には松江藩などを統括する旧島根県も設置されました)。その後、明治9年に浜田県と旧島根県が統合され、新島根県となり、松江に県庁、浜田には支庁が置かれました。

このように、浜田には明治3年から9年までの6年間、浜田県庁が置かれ、新島根県になってからは県西部を所管する支庁が置かれました。そして、裁判所、税務署、神戸税関支署などの国の機関も相次いで設置されました。また、教育面では、県内2校目の中学校である浜田中学校(現在の浜田高校)や、浜田師範学校、島根県高等女学校なども設置され、県西部の政治、経済、文化の中心として発展していきました。



三つ目は、「歩兵第21連隊の移駐」です。歩兵第21連隊は、明治17年、広島で創設されました。しかし、国防上の必要性から、明治31年に浜田に移駐されました。連隊の兵舎は、現在の浜田高校や浜田第一中学校のところに置かれ、現在の東公園(市営野球場や陸上競技場のところ)は練兵場として使われ、浜田駅北側、浜田医療センターや浅井町あたりは射的場でした。この連隊の移駐によって、その後、浜田は「軍都」として発展していきました。

連隊には、島根県全域、広島県北部などから2000人以上の兵士が入隊しました。大勢の兵士が浜田で生活するのですから、そのお陰で浜田の経済は潤いました。兵士向けの食糧、日用品などの納入があり、兵士は訓練が休みの日

曜日にはまちに出かけることから飲食店や映画館などが賑わいました。天満町には、当時、西日本屈指といわれた劇場「明治座」がつけられました(火災で全焼後、2度の建て替えを経て、映画の常設館「日勝館」となりました)。また、各地から家族が面会に訪れることから旅館も賑わいました。連隊は、水産加工業にも影響を与えました。浜田に最初に缶詰工場ができたのは明治25年頃です。その後、缶詰製造が軌道に乗り、新たな缶詰工場が増えていったのも、連隊への納入があったからだといわれています。



ところで、浜田医療センターが今日あるのも、歩兵第21連隊の移駐が大いに関係しています。明治31年の連隊移駐に伴い、傷病兵の治療や兵士の保健衛生のために浜田衛成(えいじゅ)病院が設置されました。衛成病院はその後、昭和11年に陸軍病院となりましたが、太平洋戦争の終戦とともに廃止され、全施設は国立浜田病院に引き継がれました。皆さんご存知のように、この国立浜田病院が、その後、平成21年、国立病院機構浜田医療センターになったのです。歴史に「もし」はありませんが、もし連隊が浜田に移駐されていなかったら、浜田医療センターは、今日、別の形態の病院であったかも知れません。

さて、今日の浜田市を支えている産業は何でしょうか。浜田市の人口は現在約5万6千人ですが、そのうち、事業所で雇用されている人は約2万7千人です。雇用者を産業別に見ますと、最も多いのがサービス業で約5千8百人。次いで、卸・小売の約5千3百人、3番目が医療・福祉の約4千8百人です。卸・小売の雇用者は年々減少していますが、医療・福祉の雇用者は年々増加しています。その中でも、一事業所の雇用数としては浜田医療センターが最も多く、医師、看護師のほか職員総数約620人の方が働いておられます。

高齢化が進む浜田市にあっては、今後、益々、医療・福祉に対するニーズが高まっていくものと思います。医療・福祉の雇用者は、そう遠くない将来、産業別ではトップになるような気がします。そう考えると、浜田は、医療と福祉のまちと言えるかも知れません。

高齢化は益々進み、それに伴い医療や福祉の形態も変わり、今後、地域包括ケアシステムが重要になってきます。高齢者を支える地域包括ケアシステムの構築が求められる中、医療センターに担っていただく役割は更になってきます。浜田医療センターは、県西部の中核病院であるとともに、地域の医療・福祉の要として、今後益々の発展を期待しております。

# 看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>



## 65期生ナーシングセレモニー

平成29年12月6日にナーシングセレモニーを挙行了いたしました。この式典は、「看護師を目指した初心を振り返り、自分の目指す看護師像を明確にしていくこと」を目的とし、学生が主体的に運営しています。「看護を継承」することの意味について、また自分が目指す看護師像について個人で考え、さらにクラス全体で話し合い、この式典で自分たちが伝えたい誓いの言葉を決めました。



### — 65期生 誓いの言葉 —

今日、私たち65期生は新たな決意を胸に  
1人ひとりが理想とする看護の道を歩み始めます  
看護師を志すものとしての人間性を大切に、  
患者の心に寄り添い信頼関係を築きます  
患者や家族の立場に立ち、嘘偽りなく関わり  
自分の行動や言動に責任を持ちます  
患者の尊厳を尊重し、個別ケアや自立支援を行い  
充実した療養生活を送れるように支えます  
正確な知識・技術を提供していくため自己研鑽し、  
日々成長していける看護師を目指します  
私たちを支えてくださる全ての人々に感謝し  
同じ夢を持つ仲間と共に患者に笑顔や幸せを届け  
愛し、愛される看護師になります  
以上のことを誓います

来賓、病院・学校職員、保護者、2・3年生に見守られながら、1年生48名は看護師となる決意を新たにしました。これから、さらに専門となる学習に取り組んでいきますが、クラス全体で協力しながら成長していきたいと思えます。

## 院内クリスマス会

今年もおおぞら保育園と浜田医療センター附属看護学校学生との共同で、クリスマス会を開催しました。

保育園児のかわいいダンスと歌声に会場が癒され、入院中の患者さんから「治療中に孫に会えたようで嬉しい」や、看護学生の管楽器でのクリスマスメドレーには「コンサートに来たようだね」と楽しんで頂きました。

僅かな時間ですが、これからも穏やかな時を過ごせるような空間を提供していきたいと思っています。



## 万灯山公園点灯式

『万灯山公園イルミネーション点灯式に参加して』

1年生(65期生) 松浦 冨

万灯山公園イルミネーション点灯式に浜田医療センター附属看護学校1年生(65期生)7名が参加し、ハンドベルで「きよこの夜」を演奏しました。私達は音楽の授業でハンドベルを演奏し、練習から本番まで真田先生の熱い御指導を頂き当日は楽しく演奏する事ができました。私は、今年の4月から浜田市に住んでいます。今回初めて点灯式に参加したため、ヒマラヤ杉にイルミネーションが点灯された時、浜田市の町全体がイルミネーションに包まれ、とても綺麗で感動しました。そして、浜田という町がとても好きになりました。これからも、浜田市のイベントには積極的に参加し、私達学生も一緒に浜田市が活性化するように協力をしていきたいと思っています。



## 浜田地域で生活されている方を対象とした実習

～小児看護学実習I・老年看護学実習I～

2年生(64期生)35名が、11月から12月にかけて、市内の保育園、幼稚園3施設と、シルバー人材センター、ケアハウス美川で実習を行いました。園児、高齢者それぞれを対象に「健康教育」に取り組みました。園児に対しては『食事』『感染予防』をテーマに、園児に興味を持ってもらえるよう劇や替え歌を用いながら実践しました。高齢者には日頃感じておられる健康上の悩みを聞いたり、生活の中で活用していただけるよう転倒防止のための運動なども実施しました。高齢者の方々から様々な質問を受けることで深い学びができた実習でした。



小児看護学実習の様子

老年看護学実習の様子

# 冬の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らした御料理を和食と洋食の2種類をご用意させていただいております。

御料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節感の味わえる内容に仕上げております。御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただいております。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。

特別メニューは

- **実施日** 夕食 曜日ごとに病棟交代  
 3北・3南  4北・4南  
 5北・5南・緩和
- **対象** 並菜の患者さん  
 ※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)
- **料金** 別途1,000円(税込み)いただきます。

※和食メニュー、洋食メニューどちらかお好きな方を選択してください。  
 ※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。

和食



- 鴨肉のハム ● 酒粕ソース ● 金目鯛とホタテの照り焼き
- カブのジェノベーゼサラダ ● 雑穀ご飯 ● 根菜のっぺい汁
- フォンダンショコラ

洋食



- 鴨肉のハム ● 酒粕ソース ● 金目鯛とホタテのグリル
- カブのジェノベーゼサラダ ● 根菜のポトフ
- パン3種盛り合わせ ● フォンダンショコラ



## 健康レシピ

### かぶのたらこ和え

1人前

41 kcal  
食塩: 0.7g

11月～1月に旬を迎えるかぶは、寒さに耐えることで甘みが増すのが特徴です。カブは昔から身体を温め、冷えによる腹痛を予防改善する働きがあると言われていいます。また、ビタミンCも豊富に含まれ、風邪予防や疲労回復、肌荒れに良いとされています。

今回は、レモン汁を加えてさっぱりと仕上げた「かぶのたらこ和え」をご紹介します。



#### 作り方 材料(4人分)

- ★白かぶ……………240g
- ★大葉……………2g
- ★オリーブオイル……8g
- ★塩……………0.5g
- ★たらこ……………30g
- ★醤油……………4g

- ① 白かぶは皮を剥き、薄い銀杏切りにする。
- ② ①に塩を振り、軽くもんでしばらく置く。
- ③ 大葉は千切りにする。
- ④ たらこは薄皮から中身を取り出す。
- ⑤ ②から水気が出てきたら軽く絞り、大葉・たらこ・オリーブオイル・醤油と和えて完成。

## 募集 平成30年度 看護師・助産師

平成30年度採用の看護師・助産師を募集しております。  
応募資格は下記のとおりです。

■**応募資格** 看護師または助産師の資格を有する方、平成30年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方。

### お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター  
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12  
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)  
担当: 副看護部長 または 管理課人事担当

## 看護補助者 (メディカルアシスタント) 〈非常勤職員〉

みなさんは看護補助者という仕事をご存知ですか?看護補助者は医療の現場で看護師のサポートをする仕事です。看護補助者として働く際は、**資格は必要ありません**。やりがいを感じることができる素敵な職業です。幅広い年齢層の方が元気に働いています。



■**内容** 看護補助業務(若干名) ※1年契約の更新有り(最長3年)

■**勤務時間** 週32時間 ※週32時間となるようシフトを組みます。

①7:00～13:30 ④11:00～17:30  
②7:00～15:00 ⑤11:00～19:00  
③9:00～15:30 ⑥12:30～19:00

### 《主な仕事内容》

メッセンジャー 環境整備 食事の配膳 シャワー浴



■**休憩時間** 30～60分

■**給与** 時間給/890円  
諸手当/通勤手当、超過勤務手当  
賞与/年2回6万円程度(前年度実績)  
社会保険等/健康保険、雇用保険

### 研修内容

- ・医療チームの役割について
- ・医療安全 ・感染予防対策
- ・車いす移送、食事介助、入浴介助など日常生活にかかわる業務の講義と実技演習など

院内の研修も充実しているので、**初心者の方も**大丈夫です。勤務は週32時間で、遅出の時は朝ゆっくりできます。平日にも休日があるので用事もすませることが可能です。

# 奨学生募集!

看護大学・専修学校等を卒業後、当院に常勤看護師等として勤務する意志のある方へ奨学金を貸与いたします。

貸与  
金額

年間 **60** 万円

貸与  
期間

奨学生となった日の属する年度から看護大学・専修学校等を卒業する年度までの期間  
※最長4年間

### 貸与が受けることができる方

- 看護大学・専修学校等に在学する方
- 看護師または助産師免許取得後、看護師または助産師として浜田医療センターに勤務する意志のある方

### 貸与決定までの流れ

- ① 応募必要書類の提出
- ② 書類選考・面接
- ③ 貸与決定通知の発送
- ④ 誓約書・振込口座依頼書の提出
- ⑤ 指定口座に奨学金振込

### ■奨学生の資格の取消について

- 次に該当する場合は、その時点で貸与は解除されます。  
貸与した奨学金は、すみやかに全額返還していただきます。
- ① 看護大学・専修学校等を中途退学した場合
  - ② 看護大学・専修学校等で新たな学年に進級できない場合
  - ③ 浜田医療センターに勤務する意志がなくなった場合
  - ④ 貸与を辞退された場合
  - ⑤ 国家試験に不合格となった場合

### 応募期間

原則、貸与を希望する年度の4月末まで  
※応募期間後の貸与希望は下記にお問い合わせください。

### 応募必要書類

- 奨学生申請書
- 在学証明書 または 成績証明書
- 履歴書

返還債務  
の免除

- 看護大学・専修学校等を卒業後、当院において常勤看護師または助産師として貸与期間相当勤務した場合は全額免除します。
- 貸与期間に満たないで離職した場合は、在職期間に応じて免除します。  
※残余期間分については返還の必要があります。

### お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター  
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12  
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)  
担当: 管理課

# 浜田医療センター 外来診療担当医表

平成29年12月1日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	河田 公子 <sup>※2</sup>	北條 宣政	河田 公子 <sup>※1</sup>	北條 宣政	※1 診療時間9:30~ ※2 診療時間10:00~12:00
	再診	河田 公子 <sup>※1</sup>	-	-	-	-	
血液・腫瘍内科		-	島根大学より <sup>※1</sup>	-	島根大学より <sup>※1</sup>	島根大学より <sup>※2</sup>	※1 診療時間10:30~午前のみ 予約制 ※2 隔週(診療時間10:30~午前のみ) 予約制
腎臓内科		伊藤 孝史 <sup>※1</sup>	-	花田 昌也 <sup>※1</sup>	花田 昌也 <sup>※2</sup>	花田 昌也 <sup>※3</sup>	※1 診療時間9:30~12:30 ※2 第1・3・5木曜日(診療時間 午前中)予約制・紹介患者のみ ※3 診療時間9:30~12:00 予約制
特殊外来		-	-	-	透析予防外来 <sup>※4</sup>	-	※4 第2・第4木曜日 予約制
内分泌・代謝内科		-	-	-	島根大学より <sup>※</sup>	-	※ 予約制
呼吸器内科	1診	柳川 崇 <sup>※</sup>	柳川 崇 <sup>※</sup>	島根大学より <sup>※</sup>	柳川 崇 <sup>※</sup>	柳川 崇 <sup>※</sup>	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
	2診	-	島根大学より <sup>※</sup>	-	-	-	
神経内科		-	島根大学より	-	-	木谷 光博 <sup>※</sup>	※ 午後 予約制
消化器内科	初診	長谷川 亮介	生田 幸広	濱本 航	八杉 晶子	- <sup>※2</sup>	※1 毎週月曜日再診休診 ※2 毎週金曜日初診休診 ※3 予約制
	再診	- <sup>※1</sup>	長谷川 亮介	八杉 晶子	濱本 航	生田 幸広 <sup>※3</sup>	
循環器内科	初診	飯田 博 <sup>※1</sup>	特殊検査日 (休診)	松田 晋 <sup>※1</sup>	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 <sup>※1</sup>	※1 予約制・紹介患者のみ ※2 予約制
	再診	松田 晋 <sup>※2</sup>	-	明石晋太郎 <sup>※2</sup>	-	飯田 博 <sup>※2</sup>	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	外来担当医 齋藤恭子・田部有香・明石暁子 ※1 毎週火曜日 (1才以上 診療時間10:00~)予約制 (1才未満 診療時間13:30~)予約制
午前予約外来		-	予防接種 <sup>※1</sup>	-	-	-	※2 予約制 ※3 毎週金曜日 (診療時間13:00~)退院時予約制
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診) <sup>※2</sup>	予防接種 <sup>※1</sup>	フォローアップ外来 (再診) <sup>※2</sup>	フォローアップ外来 (再診) <sup>※2</sup>	1か月健診 <sup>※3</sup>	※4 毎月第1・第3木曜日 内分外来 (受付時間13:30~15:00)予約制 ※5 毎月第3水曜日 神経外来 (診療時間10:30~)予約制
特殊外来		-	-	-	内分外来 <sup>※4</sup>	-	
外科	1診	栗栖 泰郎	永井 聡	栗栖 泰郎	渡部 裕志	高橋 節	※ 診療時間8:30~14:00 予約制
	2診	-	-	清水 翔太	-	-	
午後・特殊外来		-	-	-	ストーム外来 <sup>※</sup>	-	
乳腺科		吉川 和明	-	-	吉川 和明	吉川 和明	
整形外科	1診	渡辺 洋平	柿丸 裕之	手術日	柿丸 裕之 (脊椎外来) <sup>※1</sup>	手術日	※1 予約のみ
	2診	担当医	牛尾 公典	-	渡辺 洋平	-	
関節リウマチ外来		-	近藤 正宏 <sup>※2</sup>	-	-	-	※2 隔週火曜日 紹介患者かつ予約のみ
形成外科		松江日赤より <sup>※</sup>	-	-	-	-	※ 第2・第4月曜日午前のみ 診療時間10:30~ 予約制
脳神経外科		加川 隆登 <sup>※</sup>	手術日(休診)	木村 麗新 <sup>※</sup>	-	-	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	
心臓血管外科		石黒 眞吾	手術日(休診)	堀江 弘夢	手術日(休診)	石黒 眞吾	
皮膚科		進藤 真久	手術・特殊検査 (休診)	進藤 真久	進藤 真久	進藤 真久 <sup>※</sup>	※ 予約のみ
泌尿器科		手術日(休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
産婦人科	1診	小林 正幸	矢壁 和之	平野 開士	矢壁 和之	小林 正幸	※1 (診療時間9:00~10:00) 予約制
	2診	平野 開士	平野 開士	小林 正幸	平野 開士	矢壁 和之	※2 (診療時間13:30~15:00) 予約制
午後外来		-	乳房ケア外来 <sup>※1</sup>	乳房ケア外来 <sup>※1</sup>	乳房ケア外来 <sup>※1</sup>	乳房ケア外来 <sup>※1</sup>	※3 (診療時間14:00~15:30) 予約制
産褥外来		超音波外来 <sup>※2</sup>	助産師外来 <sup>※3</sup>	助産師外来 <sup>※3</sup>	-	産褥外来 <sup>※4</sup>	※4 (診療時間13:00~15:00)
眼科		井上真知子	手術日(休診)	井上真知子	井上真知子	井上真知子	
耳鼻咽喉科		-	鳥取大学より <sup>※1</sup>	-	-	鳥取大学より <sup>※1</sup>	※1 午前のみ(診療時間8:30~12:00) 予約制・初診は紹介患者のみ
午後外来		鳥取大学より <sup>※2</sup>	-	-	鳥取大学より <sup>※2</sup>	-	※2 午後のみ(受付時間12:00~16:30) 診療時間13:00~17:00 予約制
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		-	担当医 <sup>※</sup>	-	-	-	※ 診療時間13:30~15:00
リハビリテーション科	不定	井上 幸哉 <sup>※</sup>	井上 幸哉 <sup>※</sup>	井上 幸哉 <sup>※</sup>	井上 幸哉 <sup>※</sup>	井上 幸哉 <sup>※</sup>	※ 予約制(地域連携室経由)
麻酔科 (ベインクリニック)		-	土井 克史 <sup>※</sup>	-	-	-	※ 診療時間 9:30~ 予約制・紹介患者のみ
歯科口腔外科		小池 尚史 <sup>※1</sup>	小池 尚史 <sup>※1</sup>	手術日	小池 尚史 <sup>※1</sup>	小池 尚史 <sup>※2</sup>	※1 予約制・初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 8:30~11:00 予約制・初診は紹介患者のみ ※3 午後のみ・予約制
		-	-	-	-	専門外来 <sup>※3</sup>	

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分  
(再来受付機は午前8時より稼働)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は団塊世代の全てが75歳に達する2025年に向けて方向性を示す診療報酬改定があります。今後も地域の皆さんの医療を守るためにも、健全な病院運営が必要です。職員一丸となって頑張ります。本年もよろしくお願いたします。(A.I)

「人間ドック」については  
ホームページにアクセス!

浜田医療 人間ドック 検索

<https://www.hamada-nh.jp/kensincenter/>



浜田医療センター情報誌  
スタイル&ノート

41号(2018年1月)発行責任者/浜田医療センター 浜田市浅井町777番地12 浜田医療センター院長 石黒 眞吾 TEL.0855-25-0505

制作/株式会社D52